

三月末に三十数年務めた自衛隊を無事に退官し、後輩の努力もあって、4月1日から民間生保会社に顧問として入社した。師団の旅団化改編や隊員のイラク派遣等もあって心構えが必ずしも十分でなく、気持ちを切り替える暇もない、謂わば不期遭遇戦を強いられた。

失敗談を幾つか紹介し、皆様に

新座市の自宅から会社まで東武東上線と相互乗り入れしている有楽町線を乗り継いで通勤である。

- ① 会社から通勤定期代として支給された金額を持って、池袋駅で通勤定期を購入した。乗換駅を何も考えることなく『池袋』と指定して買ったのだが、定期代が支給された額に比してどうも高い。不審に思いつつも、多分、会社の間違いであろうと思って、バスの定期購入に向かった。はたと気付いたのは乗換駅が申請と違うので高くなったのであり、和光市駅乗り換えにすべきだったのだろうと。そこで、志木駅で買い換えようと思って定期券売り場に並んだ。手数料を取られて無事に支給額通りの定期を購入できた次第である。考えてみれば当たり前だが、そのような当たり前の事に気が付かないと言うのは、今まで仙人の生活即ち、庶務的事項は誰かが代行してやって呉れたから、普通の感覚が何時の間にか失われていたからだろう。
- ② 西部バスの定期券売り場が志木駅にあった(?)ので、探し回った。だが、見つからず、東武の売り場で聞いてそこに行った。確かにバス操車場の中に売り場は有ったのだが、人気無く電気も消えている。隣のバス乗務員の待機室でラーメンを啜っている運転手さんに尋ねたら、1900を過ぎたから営業していないのだからと言う。それを真に受けて、その日は帰宅した。さて、その翌日『今日こそはと』思いつつ、そこに向かった。が、営業していないではないか。可笑しい。案内板が出ている。営業日は月末と月初めの2,3日間のみであると。昨夜暗くて確認出来なかったし、確認もしなかった自分に非があるのは解っているから、怒りを誰にぶつけるわけにもいかない。仕方なしに、休みの日に営業所まで出向いて購入した。昔は定期券など何処の駅でも買えたような気がするが、最近はリストラという名の合理化で売り場の数が縮小されているようだ。
- ③ 会社を定時退社することが慣習のようである。日の高いうちに帰宅する事の罪悪感を少しは感じつつ、入線して来た電車に飛び乗った。この時間帯である。ガラガラだから、当然座れる。座って何時の間にかウトウトしていたらしい。アナウンスされる駅名が何となく聞き慣れない。可笑しいと思って到着駅名を見ると西武線に乗り入れている。慌てて飛び降りて池袋までの戻る事にした。準急列車が、暫く待った後違うホームから出発する。しめしめとその電車に乗って池袋に戻った。有楽町線に乗り換えられると思ったのは大きな間違い。改札を通過出来ない。清算しろと言う。冷静に考えるとそりゃそうだが、その時は『何故だ、可笑しい』と思ったのだから、浮世離れしていると笑われても致し方ない。

この様にして色々と学び直している。戸惑いつつの社会復帰の現状である。